

令和2年9月定例会 文教厚生委員会

令和2年10月6日（火）

〔委員会の概要 教育委員会関係〕

須見委員長

ただいまから，文教厚生委員会を開会いたします。（13時03分）

直ちに，議事に入ります。

これより，教育委員会関係の調査を行います。

この際，教育委員会関係の追加提出予定議案について理事者側から説明を願うとともに，報告事項があればこれを受けることにいたします。

【追加提出予定議案】（説明資料（その2））

- 議案第30号 学習者用コンピュータの購入契約について
- 議案第31号 充電保管庫の購入契約について

【報告事項】

な し

榑教育長

9月定例会県議会に追加で提出を予定いたしております教育委員会関係の案件につきまして御説明申し上げます。

今回，御審議いただきます案件は物品購入契約2件でございます。

それでは，お手元に配付いたしております文教厚生委員会説明資料（その2）の1ページをお開きください。

1，その他の議案等といたしまして，（1）物品購入契約でございます。

はじめに，この2件の契約に至る経緯といたしまして，Society 5.0時代を切り開く徳島ならではの将来人材を育成するとともに，新型コロナウイルス感染拡大に備えるため，危機管理調整費を活用した本県独自の取組として，国のGIGAスクール構想の対象外となっている県立高校及び特別支援学校高等部の生徒が使用する一人1台タブレット端末を配備することについて，さきの6月定例会県議会における6月26日の付託委員会におきまして御報告させていただいておりました。

その後，機器の仕様等の検討や調達における県庁内部での審査手続を経まして，去る8月14日に入札公告，9月28日に入札を行い，業者が決定したところでございます。

まず，資料のAに記載しております学習者用コンピュータの購入契約についてでございます。

一人1台用の学習者用コンピュータWindows OSの購入契約について，一般競争入札により株式会社四電工徳島支店が落札いたしました。1万6,500台の端末購入について，契約金額8億767万5,000円で契約を行うものでございます。

次に，イの充電保管庫の購入契約についてでございます。

一人1台タブレット端末を各学校において保管，充電するための充電保管庫の購入契約

について、一般競争入札により株式会社姫路エービーシー商会在札いたしました。646台の充電保管庫の購入について、契約金額4,334万6,545円で契約を行うものでございます。

以上で、追加提出予定案件の御説明を終わらせていただきます。

なお、報告事項はございません。

御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

須見委員長

以上で、説明は終わりました。

これより質疑に入りますが、質疑につきましては追加提出予定議案に関連する質疑にとどめたいと思いますので、御協力をお願いいたします。

また、先ほど開会された議会運営委員会において、追加提出予定議案については本日の委員会で十分審議の上、明日の本会議においては委員会付託を省略して議決することと決定いたしておりますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、質疑をどうぞ。

山西委員

私のほうから、何点かお尋ねしたいと思います。

まず1点目、この度追加で提出されました案件であります。

物品購入契約のうち学習者用コンピューターの購入契約について及び充電保管庫の購入契約について、この2点であります。なぜ追加提案ということになったのか、開会日に間に合わなかった理由についてお尋ねしたいと思います。

長町教育次長

ただいま山西委員から、追加提案を行う理由、また開会日に間に合わなかった理由ということで御質問を頂きました。

この入札につきましては、先ほど教育長から説明いたしましたように、6月議会において危機管理調整費を活用して整備を進めていく方針となり、御了承いただいたところでございます。

その後、県庁内部の事務といたしまして、それぞれ月1回開催されますICT調達管理委員会の調達前審査や物品購入審査委員会の審査、これらの事務を経まして、8月18日に県報による公告を行ったところでございます。

この調達につきましては政府調達協定、いわゆるWTO案件ということで、公告から入札まで40日以上の間を設ける必要があるということで入札日を9月28日に設定していたところでございます。したがって、開会日には間に合わないということでございます。

そして、入札条件によりまして納入期限は決まっておりますけれども、大規模な調達でありますため、納入は順次なされていくものと考えております。

したがって、議決を頂きまして、少しでも早く本契約に移行いたしまして期限内での納入を確かなものとするとともに、再度の新型コロナウイルス感染症拡大の可能性も勘案いたしますと、少しでも早く一部ずつでも学校に届けられるように準備したいということか

ら追加提案とさせていただいたところでございます。

山西委員

いろいろな入札条件もあって開会日には間に合わなかったと。しかし、現場には一刻も早く1台でも早くということで、今回追加提案されるという答弁だったかと思います。そこは十分理解いたしました。

先ほど次長からも答弁がありましたように、納入については順次されるという答弁でありましたけれども、この配付先をどこの学校からしていくのかというような優先順位をどのように付けていくのか、そのあたりを具体的に確認したいと思います。

長町教育次長

優先順位ということでございますが、これは納入される台数によっても変わってくると思われますが、現在先行していろいろ実証しておりますモデル校において、全校生徒を対象にした展開をまずは考えております。

先ほど申しましたこの冬の新型コロナウイルス感染症の拡大によりまして、臨時休業等が発生した学校のためにも備えたいと考えているところでございます。

山西委員

ということは、モデル校をまず優先的に、それから臨時休校した学校がその次にということで、そのほかの何か基準とか目安というのは、現時点ではまだ未定という理解でよろしいですか。

長町教育次長

例えば、台数によっては学年を指定して行うということもありますけれども、ここに関しては今後検討してまいりたいと思います。

山西委員

先ほど次長からもお話がございましたように、例えば最終学年、高校生だったら3年生からというような流れになると思いますが、学校単位で行うのか学年単位で行うのか、この辺も現場の意向がいろいろあると思いますので、そういったところはしっかりと聞き取っていただいた上で、適切な優先順位を付けていただきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それから、この県のタブレット端末の購入に併せて、市町村教育委員会との連携についても確認をしておきたいと思います。

各市町村の教育委員会においても、いわゆるGIGAスクール、タブレット端末を一人1台ということで様々な市町村において議会に提案がなされているというのは承知いたしておりますが、県内24市町村全てで、このGIGAスクール、一人1台タブレット端末を導入する見通しであるのかどうか、そのあたりを確認しておきます。

長町教育次長

市町村の調達に関する御質問を頂きました。

市町村の調達につきましては、我々県が行う義務教育の県立中学校、特別支援学校の小・中学部の調達に合わせて、共同調達を呼び掛けたところでございます。こちらのほうは約1か月先行しており、8月24日にこの入札を終えているところでございまして、県と共同調達を希望したのが14市町になります。

そちらのほうは既に落札業者が決定しておりますので、そこと契約を締結し、調達を進めているところでございまして、この共同調達分に関しましても、納入期限は全体の3分の1を12月末まで、残りの3分の2を2月末までというふうになっております。

また、単独での調達を実施しております残りの10市町村におきましても、今年度中の納入に向けて調達を進めていると伺っておりまして、例えば8月までに業者を選定した市町村が五つ、9月が三つ、そして10月以降になるところが二つとなっております。

納品については、24市町村いずれも今年度中の完了を予定しているというところと伺っておりまして、早い所では既に9月に納入ができたという所もあると伺っております。

山西委員

文部科学省も、コスト削減、あるいは事務手続の効率化の観点からも、当初から県が市町村を取りまとめて共同調達することを推奨されております。

先ほども、県と共に共同調達を行ったのが14自治体ということで答弁がありました。

この14自治体での全体の割合、何パーセントが県と共同調達ということになったのか、自治体の件数は共同調達14自治体、単独調達10自治体ということで答弁がありましたけれども、割合でいったらどれぐらいが共同調達なのか、お伺いしたいと思います。

長町教育次長

共同調達と単独調達の台数の割合ということでしょうか。

（「そうです」と言う者あり）

共同調達の台数は2万3,917台となっております、そこに県の分約1,400台も含まれております。

単独調達につきましては正確な数字が今手元にございませませんが、ほぼ同じぐらいですけれども、徳島市や鳴門市が入っているということで共同調達より少し多くなっているということになっています。

山西委員

また正確な数字、パーセントは教えていただければと思いますが、御答弁いただいたように、50パーセント以上は単独調達というような感じかと思います。

次にOSの種類、例えばWindowsとかiPadとかありますけれども、このOSの種類についてお伺いをしたいと思います。

市町村の学校、特に義務教育の学校では先生方の市町村をまたいだ異動というのが当然あるわけで、やはりこのOSの種類がある程度統一されていたほうが、先生方も一から使い方を学ばなくてもスムーズに授業、研究も含めて取り組めるというふうに思うのです。

そういう意味からすると、かねてから私もこの委員会で申し上げておりますとおり、働

き方改革にも資すると思います。

そういったところで、このOSの種類が市町村によってばらばらになっているのか、ある程度統一化されているのか、そのあたりについても確認しておきます。

長町教育次長

市町村のOSの種類ということに関する御質問でございます。

まず、このOSはその上でいろいろなアプリが動くという基本的なソフトウェアのことですけれども、文部科学省のほうで三つの推奨するOSが言われておりまして、まず一つはWindows, それからiPadOS, Google Chrome, この三つのOSが推奨されているところでございます。

その中で、共同調達の際、県立中学校では県立高校と同様にWindowsを選択いたしました。それに合わせてWindowsを入れた所が11市町です。

また、特別支援学校の小・中学部ではiPadがビジュアル的に使いやすいということで、特別支援学校ではiPadを入れましたので、それに合わせて共同調達をしたところが4市町です。

ただ、先ほどの11自治体と4自治体で、一つは小中学校で小学校にはiPad, 中学校にはWindowsという入れ方をしている所がありますので、合わせて14自治体になります。

単独調達をした所では6市町村がWindows, 2町がiPadOSです。

それから、県では選択しておりませんが、2町でGoogle Chromeを入れております。

この三つのOSはいずれも文部科学省のほうで推奨されておりますので、いずれが入りましても大きな問題はないかと思います。

Google Chromeが二つだけですが、例えばWordやExcelといったWindowsで使うようなソフトがそのまま使えるわけではございませんが、同種のものはあると思いますし、大きく支障を来すということはないと考えております。

山西委員

それから、共同調達が調達の台数ベースでいきますと結果的に50パーセントを割ったということではありますが、その理由、なぜ共同調達の数字がもう少し伸びなかったのか、そのあたりを具体的に御答弁いただければと思います。

長町教育次長

単独調達を行った市町村について、その理由ということでございます。

まず一つ、Google Chromeを選んだという所については共同調達ではなく独自でということでございます。

それから、小規模な町や村については早期の納入を目指して独自でということがございます。共同調達にすると大規模になりますので、先ほど申しましたようにどうしても3分の1が12月、残りが2月という時期になりますけれども、先ほども9月に入っている所があると申しましたが、少数でありましたらそういった納入も可能だということが理由にな

ります。

次に、これまで導入してきたタブレットがある市町村がございます。そうすると、同じOSで同じ機種を導入したいということから共同調達には入らなかったということ。

あと一つ、競争入札ではなく、性能や納入時期、価格、更には導入のソフトなども含めまして総合的にプロポーザル方式で選定したという所があること。

このような理由から単独調達を行っていると同っております。

山西委員

いろいろな事情から共同調達、あるいは単独調達をそれぞれの市町村で判断なされたというふうには理解をいたしますが、できれば共同調達が望ましいとは考えております。

この共同調達をしたほうが良いというお考えで取りまとめるために、県が市町村に対して何か働き掛けを行ったのか、それとも基本的には市町村それぞれの御判断に委ねたのか、そのあたりはどのようなになされたのかをお伺いします。

長町教育次長

市町村への働き掛けということでございます。

こちらについては、当然ながら全ての市町村に対して、こういうOS、こういう仕様で共同調達すると呼び掛けておりますし、またそれより前から共同調達について全市町村といろいろ御相談しながら呼び掛けていたところでございます。

ただし、先ほど申しましたように、それぞれの市町村にそれぞれの事情がございますので、そういった中で、我々としては共同調達を必ずしも強制するようなものではなく、やはり独自に選択していただくという姿勢で呼び掛けていたというところでございます。

山西委員

結果的にこういう調達法になったということで、よく分かりました。

とはいえ一方で、もう導入することが決まって、全ての県、市町村において年度内に調達できるということが決まったので、やはり今度はスムーズに現場に落とし込んでいくための準備期間になるのではないかと思います。

せっかくすばらしい機械を入れても、それをできるだけ使いこなせる状況にならないと宝の持ち腐れになってしまうかもしれないという意味から、ここからはしっかりと準備期間に入っていていただいて現場にスムーズに落とし込んでいく、そして児童生徒の学習の機会をしっかりと確保していく。そのために力を注いでいただきたいと思いますので、是非よろしくお願いして、私の質問を終わりたいと思います。

井下委員

私から2点ほど、入札に関して非常に額の大きな入札になったのですが、入札の状況はどのような感じであったかだけ教えてください。

長町教育次長

入札の状況ということでございます。

応札が何者あったかということで答えさせていただきますと、学習者用コンピューターのほうは1者でございました。それから充電保管庫は8者でございます。

その学習者用コンピューター、すなわちタブレット端末の入札につきましては、少しでも快適にまた長く使えるようにということで、文部科学省がGIGAスクールモデルとして設定する標準仕様というのをを出しておるところでございますが、この標準仕様よりもストレージやメモリーと呼ばれます記憶装置において、より高い性能の仕様を求めたところでございます。

また、今回の高校の調達に当たっては、人手を要します設定についてもこの契約の内容に加えたということでございまして、入札説明書の受領というところでは15者が入札説明書を受領されていたのですけれども、我々の示したこの条件の中で結果的に応札は1者となったところでございます。もちろんこの1者でも競争入札は適正に成立しております。

現在、全国の学校においてこういった調達が行われておりまして、この学習者用パソコンに関しては需給がひっ迫している状況だというふうにも聞いておるところでございます。

井下委員

今おっしゃっていただいたみたいに1者だったので、どんな感じかと思ったのですが、結構大きな所を取っていただいたみたいですし、先ほどおっしゃっていただいたみたいに物がなかなかない状況で、当初のモデル事業のほうにもまだ物が行っていないような状況になっているとお伺いしていますので、先ほど山西委員からもあったのですが、少しでも早く現場に届けていただきたいと思いますと思っております。

もう1点だけ、今後のスケジュールについて年度内ということなのですが、恐らく先生の勉強する時間とかも必要になるかと思えますけれども、その点だけ最後に教えてください。

中野総合教育センター所長

ただいま、今後のスケジュール、特に教員の研修についての御質問を頂きました。

現在、教員研修をはじめとした今後のスケジュールにつきましては、徳島県GIGAスクール構想推進本部の中で検討しております。特に教員研修につきましては、小中高校、特別支援学校の各部会でそれぞれ検討しているところです。

具体的には、共通するアプリケーションを決定して、それを使った授業等における効果的な指導というところから研修の計画を検討しているところでございますけれども、最終の方向性は12月を目途に出す予定としております。

早速、研修を1月からスタートいたしまして、4月から全ての児童生徒一人1台端末が活用できるような研修を、全教員に対して年度内に行う予定としております。

井下委員

重ねてになりますが、なかなか時間が掛かるというのもありますし、物が無いというのも仕方がないと思っはいるのですが、国のGIGAスクール構想が当初よりも大分早まりましたので、是非これをチャンスにしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

す。

須見委員長

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で、教育委員会関係の調査を終わります。

これをもって、文教厚生委員会を閉会いたします。（13時29分）